

## 女子短大生の職業観

### —岡崎女子短期大学経営実務科での予備調査—

笹瀬 佐代子

**要旨** 本稿は、岡崎女子短期大学経営実務科2年生を対象として「働くこと」に対する意識を予備的に調査したものである。「会社の選択理由」、「働く目的」、「働き方」、「昇進したいポスト」について、同年代の他の調査と差が出ている。本校の学生は、「楽しく経済的に豊かであるが、人並み程度の働き方で苦労はしたくない」生き方を望んでいるようである。

#### abstract

The author conducted a preliminary investigation into the motivation for working of the sophomores of our Management Practice Course, and found clear differences from other investigations on the same generation about "reason for selecting a company," "objective of working," "working style" and "target post." As a result, it is apparent that our students are desirous of "being pleasant, financially affluent and working like everybody else but with no pains."

#### 1. はじめに

財団法人社会経済生産性本部による平成18年度新入社員の「働くこと」の意識調査<sup>1)</sup>では、3つの傾向を取り上げている。第1は「就社から就職へ」という傾向である。終身雇用制の後退、大企業も吸収合併する現実を目の当たりにし、企業内で昇進することよりも、専門的技能の習得や能力をいかすことを重視する。

第2に、インターネットが就職活動の情報源として欠かせない存在になってきたことである。

就職活動では、今やインターネットが欠かせない情報源であることは明白な事実である。

第3は、職業生活と私生活との両立の意向である。学生は、アルバイト先の社員の働き方を見て、自分の働き方について考えている。

就職活動を経た学生は、「働くこと」に対して、どのような意識をもっているのであろうか。本稿は、岡崎女子短期大学経営実務科2年生を対象として「働くこと」に対する意識を予備的に調査したものである。

#### 2. 調査の概要

- (1) 調査期日 平成18年11月15日
- (2) 調査対象 岡崎女子短期大学 経営実務科  
2年「総合科目C」受講者  
なお、平成18年11月末時点で経営

実務科就職希望者（大部分が2年生）の77%が内定済である。

- (3) 調査方法 集合法による質問紙調査  
記入所要時間 10分～20分
- (4) 調査内容 ①働く目的、態度  
②将来家庭を持った場合の働き方
- (5) 調査集計人数 54人
- (6) 比較対象の財団法人社会経済生産性本部の調査について

財団法人社会経済生産性本部と社団法人日本経済青年協議会が共同して平成18年3月から4月にかけて行った。昭和44年度から毎年行われている。

国立オリンピック記念青少年センターにおける「平成18年度新社会人研修村」（平成18年3月8日～4月30日）参加者全員を対象とする。今年の有効回答数は76社、3,937件で、うち短期大学卒業は154件である。

また、平成12年度調査については、有効回答数は3,243件である。短期大学卒業数など詳細な区分は不明である。

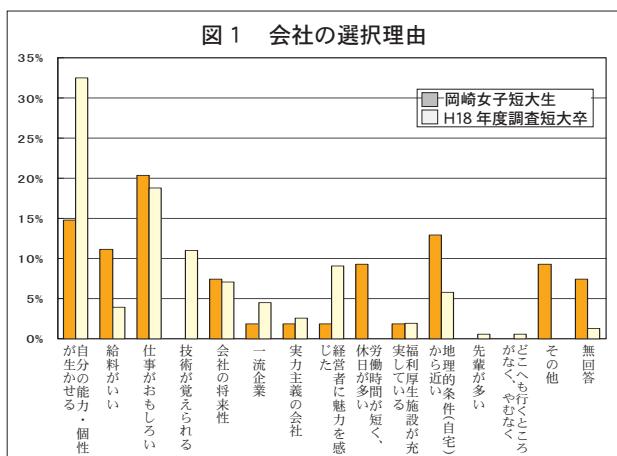
#### 3. 調査結果

- (1) 働く目的、態度について
  - ① 働き方  
卒業後の働き方の質問では、正社員が94%と大多数である。派遣社員は2名（3.7%）であった。

職種では、製造業が 83.3%、医療が 9.3% であった。製造業が多い地域の特色が出ている。

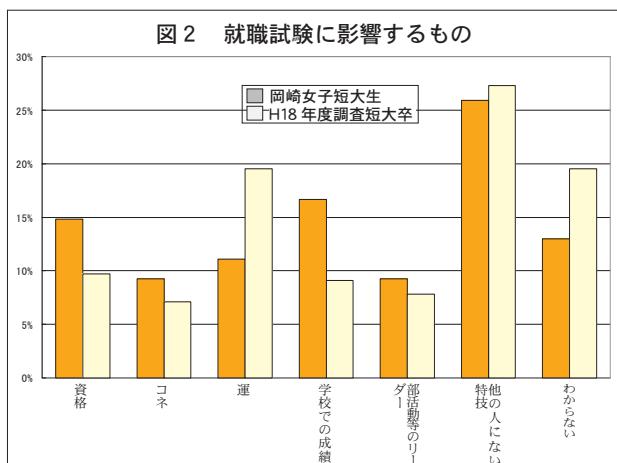
## ② 会社の選択理由

どのような理由が、就職先を決める要素となるだろうか。「会社を決めるときに最も重視するもの」に対して、本学の学生は「仕事がおもしろい」が 20.4% である。次いで「自分の能力・個性が生かせる」 14.8%、「地理的条件（自宅）から近い」が 13.0%、「給料がいい」 11.1% と拮抗している（図 1）。



平成 18 年度新入社員の調査での短大生（以下「18 年度調査」と略す）は、「自分の能力・個性が生かせる」 32.5%、「仕事がおもしろい」が 18.8%、「技術が覚えられるから」 11.0% の順で、「地理的条件（自宅）から近い」は 5.8% であった。本学の学生は、地元就職志向が高く自宅から通うことのできる大企業が多い地域の特性が現れているものとみられる。

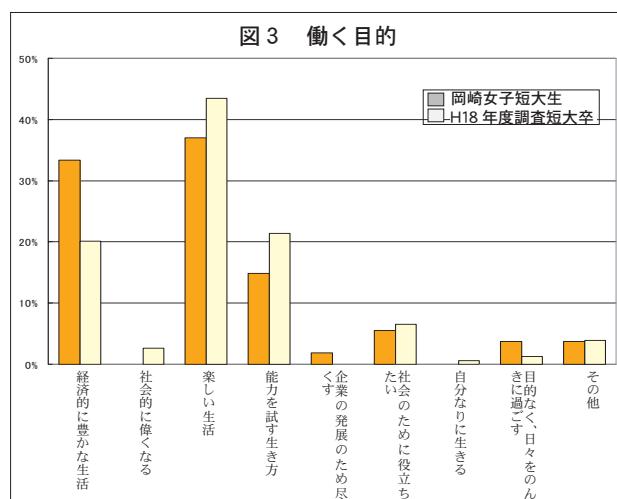
次に就職試験の合否を決定する要因について質問した。「他の人にはない特技がある」（25.9%）、本学の学生は、「学校での成績」（16.7%）、「資格」（14.8%）と、18 年度調査と比較して、学校での成績や資格を重視していることがわかる（図 2）。



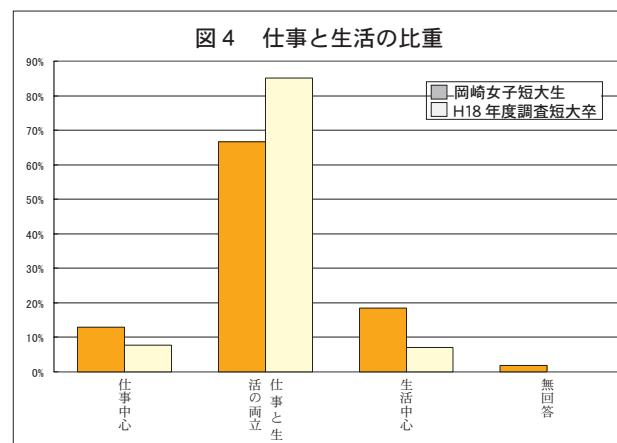
学生は「学校での成績」や「資格」が合否を左右したと、就職活動を振り返って、分析をしているものと考えられる。

## ③ 働く目的

働く目的では、本学の学生は「楽しい生活をしたい」 37.0%、「経済的に豊かな生活を送りたい」 33.3% とほとんど同程度である（図 3）。「自分の能力を試す生き方」は、14.8% である。平成 18 年度調査によると、「楽しい生活をしたい」 43.5%、「自分の能力を試す生き方」は、21.4%、「経済的に豊かな生活を送りたい」 20.1% である。本学の学生は、「自分の能力を試す生き方」よりも「経済的に豊かな生活」志向であることがうかがえる。

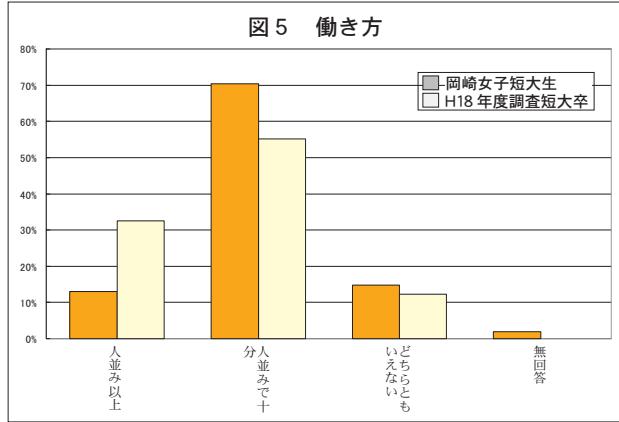


働き方の一つとして、「仕事中心か、生活中心か」を質問した。「仕事と生活の両立」が 66.7%、「生活中心」 18.5%、「仕事中心」 13.0% であった（図 4）。平成 18 年度調査と比較すると、両立派が少なく、仕事か生活か、どちらかに比重を置く傾向がある。

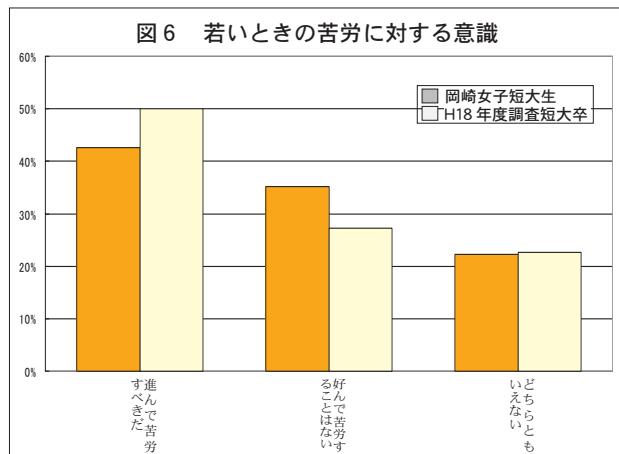


また、「人並み以上に働きたいと思うか」との質問には、「人並みで十分」が 70.4%、平成 18

年度調査の短大生 55.2% を遙かに上回っている(図5)。「人並み以上に働きたい」は、平成18年度調査の短大生 32.5%に対し、本学の学生 13.0%である。



また、本学の学生は、質問「若いうちは、自ら進んで苦労するぐらいの気持ちがなくてはならないか」に、「進んで苦労すべきだ」42.6%、「好んで苦労することはない」35.2%と、「苦労することはない」比率が高い(図6)。



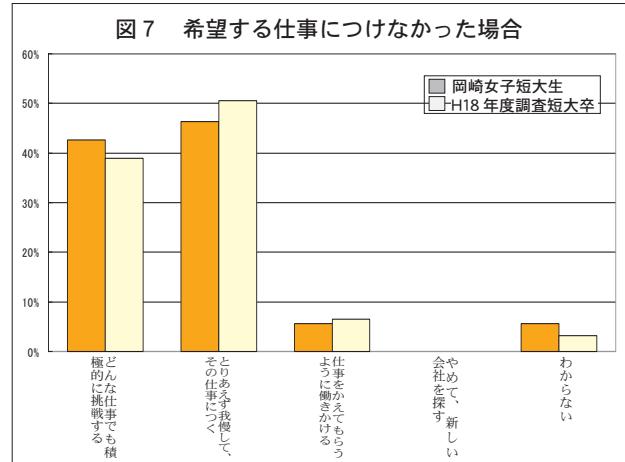
以上から、本学の学生は、「楽しく経済的に豊かであるが、人並み程度の働き方で苦労はしたくない」生き方が、全国よりも高い傾向にある。

#### ④ 職業生活についての考え方

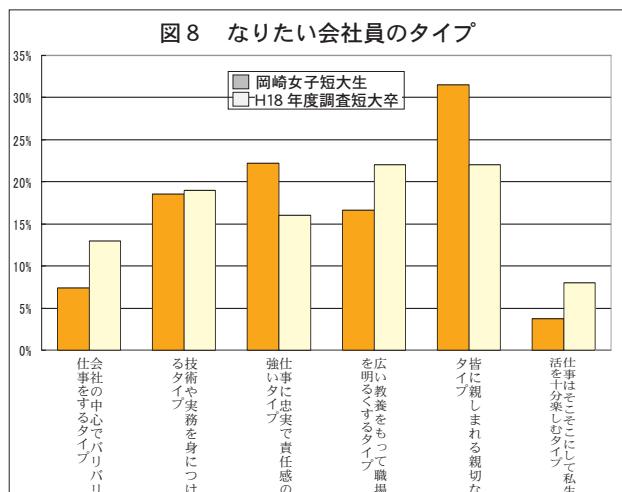
「職場で希望する仕事につけなかった場合はどうするか」との質問では、「とりあえず我慢して、その仕事につく」(46.3%) が、「どんな仕事でも積極的に挑戦する」(43.0%) をわずかに上回っているが、ほとんど同程度である(図7)。

平成18年度新入社員の調査の短大生と比較してみると、「とりあえず我慢して、その仕事につく」(50.6%) と「どんな仕事でも積極的挑戦する」(39.0%) には、差がある。本学の学生には

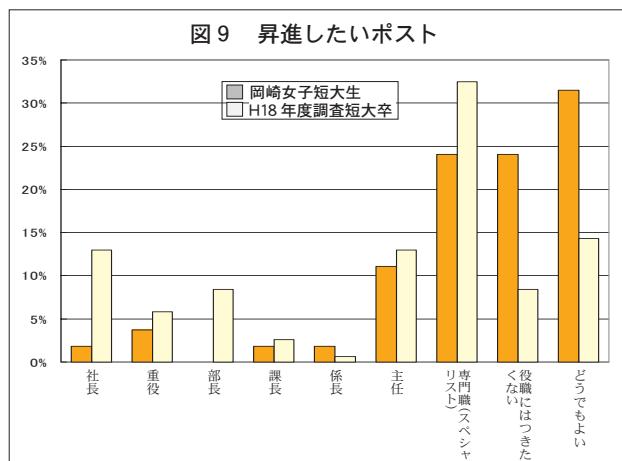
チャレンジ精神が多少あるということであろうか。



「どのような会社員になりたいか」<sup>ii)</sup> では、「皆に親しまれる親切なタイプ」(31.5%)、「仕事に忠実で責任感の強いタイプ」(22.2%)、「技術や実務を身につけるタイプ」(18.5%) と、職場の人間関係を重視し、仕事に責任を持つ意思がある(図8)。

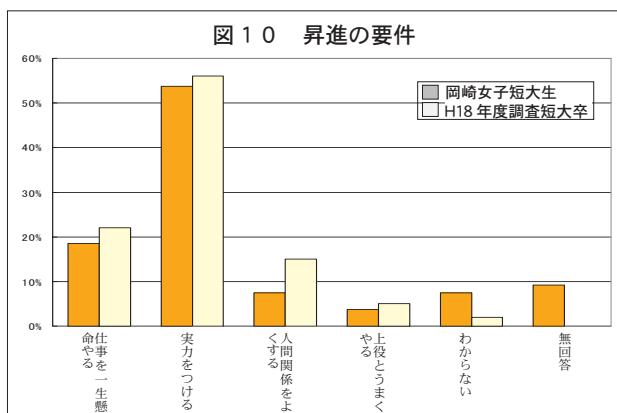


「どのポストまで昇進したいか」との質問には、「どうでもよい」(31.5%) が最も多いが、「専門職(スペシャリスト)」と「役職にはつきたくない」が同率(24.0%) であった(図9)。



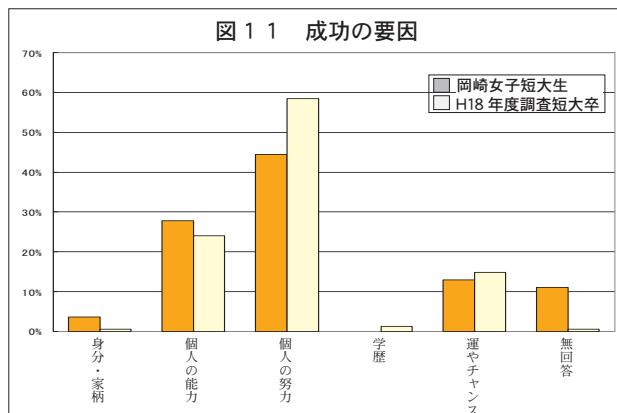
しかし、「社長」(1.9%)、「重役」(3.7%)、「課長」、「係長」各(1.9%)、「主任」(11.1%)と役職志望者がいないわけではない。18年度調査に比べれば、部長クラス以上の志願者が少ない。女性役職者のモデルが身近に感じられないためであろうか。

昇進のための条件も質問した。「どうすれば昇進できるか」には、「実力をつける」(53.7%)、「仕事を一生懸命やる」(18.5%)であった(図10)。



与えられた仕事を一生懸命行い、実力を付ければ、人が認めて昇進につながるという考えを持っていると思われる。

また、社会での成功要因は何かとの質問には、「個人の努力」(44.4%)、「個人の能力」(27.8%)と、本人次第と考えている(図11)

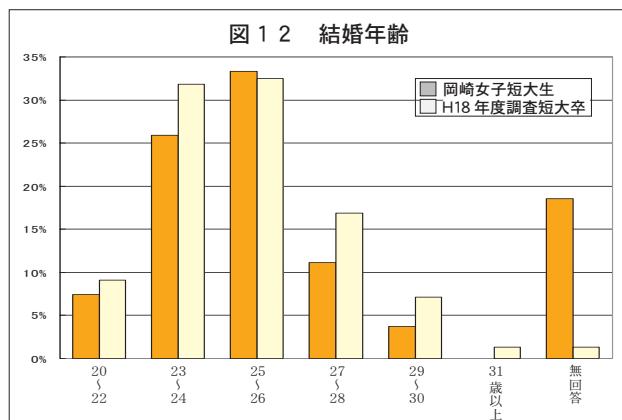


## (2) 将来家庭を持った場合の働き方について

### ① 結婚年齢

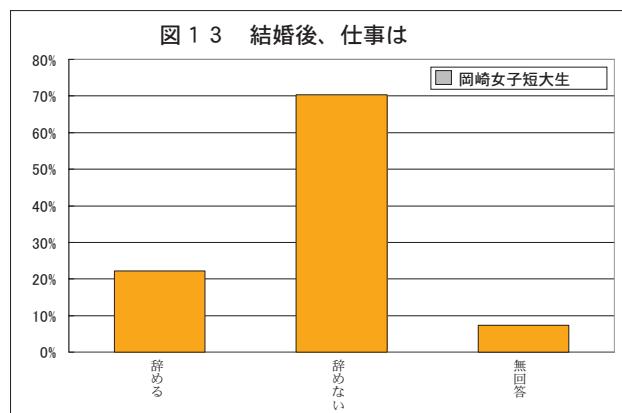
「いつごろ結婚したいか」については、「25~26歳」が33.3%、「23~24歳」25.9%と、卒業後6年以内に結婚したいと考えているものが、過半数を占める(図12)。

「結婚たくない」と答えた者も7.4%いた。「私は結婚しないと思う」「結婚は考えられない」など、結婚に対する拒否感が一部みられる。



### ② 結婚後の仕事について

「住居地の近くに仕事先があるとき、結婚したら仕事をやめるか」という質問に対し、「辞めない」(70.4%)、「辞める」(22.2%)となった(図13)。



質問文に、「住居地の近くに仕事先があるとき」という文言があるのは、本人の意思ではなく、配偶者の転勤等でやむを得ず辞める場合を除いた。

18年度調査と比べると、「辞めない」場合(48.7%)も、「辞める」場合(7.1%)多く、「わからない」が少ない。結婚後の働き方を、考えているということだろうか。

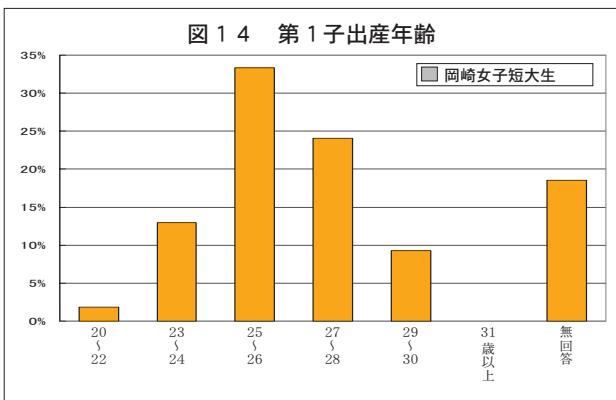
また、結婚後の生活について質問した。質問「結婚後、2人だけで住むか」には、「2人だけで住む」(77.7%)であった。

「同居にはどちらの両親と住むか」には、「相手の両親」(88.9%)と圧倒的であった。「自分の両親と住む」は、3.7%しかなかった。

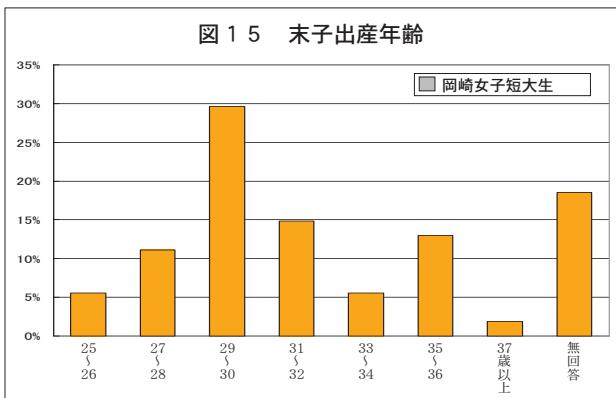
### ③ 子育て期の仕事について

結婚後、仕事は続けるが、子どもが見て子育てをする時期はどうだろうか。

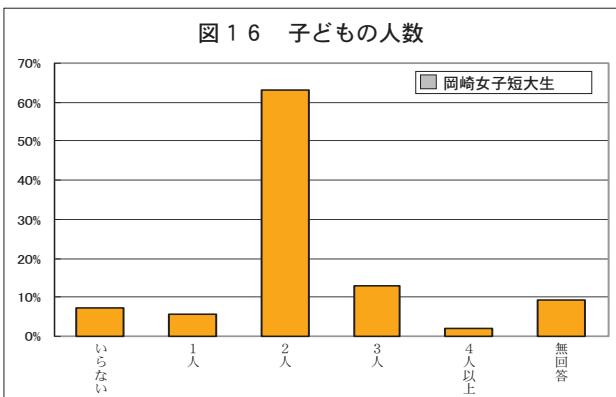
まず、第1子の出産年齢について聞いた。「25~26歳」33.3%、「27~28歳」24.1%で、30歳までには第1子を出産したいと考えている(図14)。



次に、末子の出産年齢を質問した。「29~30歳」29.6%、「31~32歳」14.8%と、32歳までに末子出産希望が過半数を超えたが、「35~36歳」も13.0%と3番目に高い比率である(図15)。

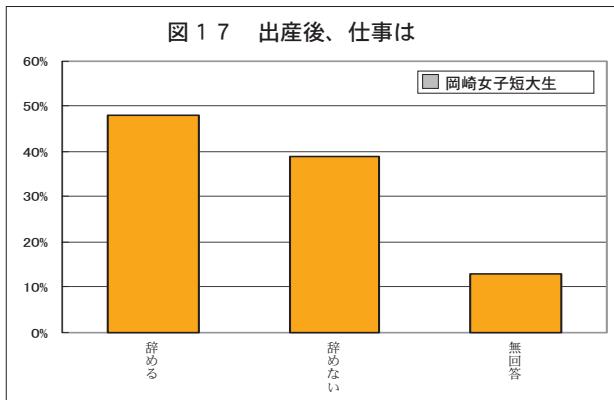


また、欲しい子どもの人数では、「2人」(63.0%)、「3人」(13.0%)、「いらない」(7.4%)となっている(図16)。2人を希望しているが、「いらない」という者も少なくない。



出産後の仕事については、「辞める」(48.1%)、「辞めない」(38.9%)であった(図17)。本学の学生は、出産後は家庭に入り、子育てに専念したい意向がまだ強いようである。

前述の質問で、出産後「仕事を辞める」と答えた26人に再就職の意思を確認した。「再就職希望」は53.8%であった。再就職の時期は多様で



あるが、「子どもに手がからなくなくなったとき」であり、その時期が小学校入学、中学入学など個人で異なっている。

#### 4. むすびにかえて

「働くこと」の意識について、本学の2年生を対象に、今回は予備的な調査を行った。「会社の選択理由」、「働く目的」、「働き方」、「昇進したいポスト」について、他の調査と差が出ている。本学の学生は、「楽しく経済的に豊かであるが、人並み程度の働き方で苦労はしたくない」生き方を望んでいるようである。また、出産後は家庭に入りたいと望んでいる傾向もある。

今後は、質問を精査し、本学の特徴や地域的な傾向の有無を確認する必要がある。

また、入学した直後の1年次、就職活動を経た2年次、卒業直後、卒業してから3年後と、同一人物による経年変化の調査を行い、授業、就職活動や実際の社会人生活が、「働くこと」の意識にどのような変化を与えていたのか調査を行っていきたい。

#### (注)

- 財団法人社会経済生産性本部は、社団法人日本経済青年協議会と共同で、昭和44年度から、新入社員に「働くこと」の意識調査を行っている。
- この質問は、平成18年度社会経済生産性本部の調査では、行われていない。本調査との比較のため、平成12年度の調査結果を用いた。平成13年度以降の調査ではこの質問は行われていない。

#### 【参考文献】

- 財団法人社会経済生産性本部、社団法人日本経済青年協議会『平成18年度新入社員「働くこと」の意識』調査報告書』、財団法人社会経済生産性本部、社団法人日本経済青年協議会、平成18年6月

## アンケート

このアンケートは、「働くこと」への考え方を調べるもので、研究以外には使用いたしません。

### 【学生生活（1年半）】

1. 真面目に授業に取り組みましたか
2. 資格取得など目標をもって学生生活を送っていますか
3. クラブ活動や学校行事に熱心に取り組みましたか
4. アルバイトを熱心にしましたか
5. アルバイトをしている目的は何ですか

かなり	少し	ほとんどない	ない
1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4

- 1 学費など通学のための費用を貯うため
- 2 飲食費、服飾費などを貯う小遣いのため
- 3 マナーを知るため
- 4 ある目的のため（目的）
- 5 その他

### 【就職】

6. 卒業したら、どのような働き方を希望していますか

1 正社員	2 アルバイト	3 派遣社員	4 結婚（家庭）
5 その他			

7. どのような業種を希望していますか

1 製造業	2 小売業	3 医療
-------	-------	------

8. どのような職種を希望していますか

1 事務	2 営業	3 販売	4
------	------	------	---

9. 会社を決めるときに最も重視するもの 1つだけ

- 1 自分の能力・個性が生かせる
- 2 給料がいい
- 3 仕事がおもしろい
- 4 技術が覚えられる
- 5 会社の将来性
- 6 一流企業
- 7 実力主義の会社
- 8 経営者に魅力を感じた
- 9 労働時間が短く、休日が多い
- 10 寮・グランドなど福利厚生施設が充実している
- 11 地理的条件（自宅）から近い
- 12 先輩が多い
- 13 どこへも行くところがなく、やむなく
- 14 その他

10. 職場で希望する仕事につけなかつたらどうしますか

- 1 どんな仕事でも積極的に挑戦する
- 2 とりあえず我慢して、その仕事につく
- 3 仕事をかえてもらうように働きかける
- 4 やめて、新しい会社を探す
- 5 わからない

11. 就職試験の合否に一番影響があると思うのは、

次のどれだと思うか、1つだけ

- 1 資格
- 2 コネ
- 3 運
- 4 学校での成績
- 5 部活動等でリーダーをしていた
- 6 他の人にはない特技がある
- 7 わからない

### 【働く目的・態度】

12. 働く目的について、次のどれが自分の考えに近いか  
1つだけ

- 1 経済的に豊かな生活を送りたい
- 2 社会的に偉くなりたい
- 3 楽しい生活をしたい
- 4 自分の能力を試す生き方をしたい
- 5 自分のことは考えず、企業の発展のために尽くしたい
- 6 社会のために役立ちたい
- 7 世の中に背を向けても、自分なりに生きたい
- 8 別にこれという目的もなく、その日その日をのんきにやつていきたい
- 9 その他

13. 仕事と生活のどちらを中心に考えるか

- 1 仕事中心
- 2 仕事と生活の両立
- 3 生活中心

14. 人並み以上に働きたいと思うか
- 1 人並み以上に働きたい
  - 2 人並みで十分
  - 3 どちらともいえない
15. 若いうちは、自ら進んで苦労するぐらいの気持ちがなくてはならないと思うか
- 1 進んで苦労すべきだ
  - 2 好んで苦労することはない
  - 3 どちらともいえない
16. 人間にはいろいろな性質があるが、どれが近いか
- 1 他人の迷惑になりそうなことは、自分がやりたくてもやらない
  - 2 自分がやりたいと思ったことは、世間のしきたりなど関係なくやる
  - 3 どちらともいえない
17. 会社に対し、何を一番期待しているか、1つだけ
- 1 賃金やボーナスが増えること
  - 2 労働時間の短縮と休日・休暇の増大
  - 3 どちらともいえない
18. どのような会社員になりたいか、1つだけ
- 1 会社の中心となってバリバリ仕事をするタイプ
  - 2 技術や実務を身につけるタイプ
  - 3 仕事に忠実で責任感の強いタイプ
  - 4 広い教養をもって職場を明るくするタイプ
  - 5 皆に親しまれる親切なタイプ
  - 6 仕事はそこそこの私生活を十分楽しむタイプ
19. どのポストまで昇進したいか
- 1 社長      2 重役      3 部長      4 課長
  - 5 係長      6 主任      7 専門職（スペシャリスト）
  - 8 役職にはつきたくない      9 どうでもよい
20. どうすれば昇進できると思うか
- 1 仕事を一生懸命やる      2 実力をつける
  - 3 人間関係をよくする      4 上役とうまくやる
  - 5 わからない
21. 社会に出て成功するのに最も重要なものは何か  
1つだけ
- 1 身分・家柄      2 個人の能力
  - 3 個人の努力      4 学歴      5 運やチャンス
- 【結婚】**
22. いつごろ結婚したいか
- (                          ) 歳ころ
23. 住居地の近くに仕事先があるとき、結婚したら仕事をやめるか
- 1 辞める      2 辞めない
24. 結婚の条件は、1つだけ
- 1 相性      2 相手の年収      3 相手の年齢
  - 4 相手の仕事      5 相手の会社
25. 結婚したら 2 人だけで住むか
- 1 住む      2 住まない
26. 同居するとしたらどちらの両親と住むか
- 1 相手      2 自分
- 【育児】**
27. いつごろ第 1 子を産みたいか
- (                          ) 歳ころ
28. 末子まで何歳までに産みたいか
- (                          ) 歳ころ
29. 出産後仕事を辞めるか
- 1 辞める      2 辞めない
30. 何人子どもをほしいか
- 1 いらない      2 1 人      3 2 人
  - 4 3 人      5 4 人以上
31. 再就職を希望するか
- 1 する      (いつ                          )
  - 2 しない

以上、ありがとうございました。

